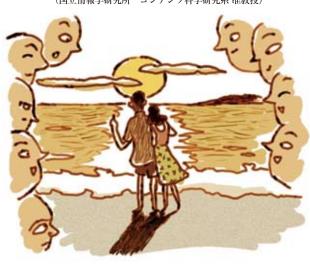
NII ESSAY

感動の共有一プライバシーも共有?

越前 功 コンテンツ科学研究系 准教授) (国立情報学研究所



けた。ホテルはオーシャンビューで眺めは最高。 ぶやこう。ホテルの名前も教えちゃえ・・・。 この感動を皆に伝えたい。よし、Twitterでつ 久しぶりに休暇を取って家族で旅行に出

Web上の旅行記が 留守」のサインに

聞や郵便物の送付を停止したりしているが、 は、旅行中に自宅への泥棒の侵入を恐れて、留 バーについて、自宅らしき場所を発見できたと 者に1週間観測させたところ、8%のドライ されている。Rutgers UniversityのHohらは、 が社会問題となっている。米国では、 のプライバシー情報が第三者によって不当に把 やSNSの利用者の位置情報や移動経路など な便利な社会になった。しかし、 ような感動の共有がリアルタイムで実現可能 旅行中のSNSの利用に対しては警戒心が薄 よると、長期休暇で旅行に出た米国人の多く に拍車をかけている。USA TODAYの記事に イバシーに対する意識が低いことも、この問題 いう。さらに、TwitterやSNSの利用者のプラ 通じて個人情報が推測できる可能性も報告 まれた事例がある。また、位置情報の解析を 取って旅行に出ていることをTwitterで公開 握されることで、利用者が不利益を被ること したところ、自宅に置いてあった数千ドルを盗 携帯端末とネットワークの普及により、この 人のドライバーの車に装着したGPSを被験 電話の設定を意図的に解除 一方で、Twitter したり、新 、休暇を

> 置情報や写真をリアルタイムで掲載したり、 専門家が指摘している。 情報を安易に投稿してしまう問題があると 『ここに1週間滞在の予定です』などといった 、自宅から何百マイルも離れた旅行先の位

できる技術とは? 安心して「感動を共有

難にすることに主眼が置かれている。一方で、ぽ で、第三者によるプライバシー情報の取得を困 の枠を超えて取り組んでいる。プライバシー保 データ工学などの様々な分野の研究者が分野 ことが重要である。社会からの要請もあり 報を第三者に過度に取得されないようにする 技術の研究では、情報提供者のプライバシー情 保護技術が注目されている。プライバシー保護 究は未だ少ないようである け手にどのような影響を与えるかについての研 かされた情報の品質がどのように劣化し、受 い。にすることや。偽の。情報を加えること 護技術の研究の多くは、情報の内容を 。あいま 980年代後半頃から情報セキュリティや 先に述べた問題の対策として、プライバシー

みが求められている。 当たり前になった今日、プライバシーを気にす ながら一定のプライバシー保護を実現する仕組 まっては本末転倒である。情報の品質を維持し るあまり、感動や話題を共有できなくなってし 話題を共有し、コミュニケーションを図ることが TwitterやSNSにより不特定多数と感動や

> 今月の表紙イラスト:知育玩具で遊ぶ幼児と知能ロボット。知能ロボットも、自分と実世界(社会)と関わりながら、徐々に学び、成長する。 このような自立した存在としてのロボットが人と共生する社会はいつ訪れるであろうか。

情報から知を紡ぎだす。



国立情報学研究所 ニュース(NII Today) 第49号 平成22年9月

発行:大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 http://www.nii.ac.jp/ 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター 表紙画:小森 誠 写真撮影:谷口弘幸 制作:株式会社 商業デザインセンター 本誌についてのお問合せ:企画推進本部広報普及チーム TEL:03-4212-2131 FAX:03-4212-2150 e-mail:kouhou@nii.ac.jp